

環境活動レポート

平成 28 年度版

活動期間:平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日



井上電機株式会社

作成日 平成 29 年 10 月 20 日

目次

1. 事業の概要	3 ページ
2. 環境方針	4 ページ
3. 環境目標とその実績	5 ページ
4. 主要な環境活動計画の内容	6 ページ
5. 環境活動の取組結果の評価 及び 次年度の取組内容	7 ページ
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8 ページ
7. 代表者による全体の評価と見直しの結果	9 ページ

事業の概要

1. 事業所及び代表者

井上電機株式会社
代表取締役 井上 寛

2. 対象事業所 所在地

本社 岡山県岡山市中区倉富403番地の7
電話 086-277-3988 FAX 086-276-6436
物流センター 岡山県岡山市中区倉富330-10

3. 環境保全関係の責任者

責 任 者	代表取締役	井上 寛
環境管理責任者	課 長	岡室 勉
産業廃棄物管理者	係 長	青木 幸作
事務所管理担当者		大江 舞
グリーン購入推進担当者		松井 悦子
環境管理担当者		井上 真由紀
緊急事態処理責任者	課 長	今井 裕之
リサイクルパーツ推進者	課 長 代 理	船越 伸一
水使用量管理者	係 長	菱川 博之
小型工場設備管理責任者	主 任	東村 拓真
小型工場設備管理責任者	課 長	井上 祐一

4. 事業内容(対象活動)

自動車電装品修理及び卸販売

5. 事業の規模

社員数 20名

環境方針

当社は企業理念に基づき「地球環境を守ろう井上電機」をスローガンに自ら責任を持ち、全社員あげて環境負荷低減に配慮した活動を継続的に取り組むため以下の「環境方針」を定めま

す。

1. 業務の見直し 業務の無理・無駄を排除します。

2. 資源・省エネルギー活動

事業所内の整理・整頓・清掃・清潔に留意し、電力・紙・水等の資源・石油エネルギーの使用量の削減等環境負荷低減に努めます。

3. リサイクル活動による省資源化の推進

省資源活動の一つとして、リサイクル品等の使用を推進します。

4. 廃棄物の削減・分別処理

事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をし、分別処理を推進します。
グリーン購入の推進及び製品サービスに努めます。

5. エコドライブ等による排出ガスの低減

自動車電装整備により排出される有害な排出ガスやCO₂を削減するための「環境汚染防止整備」を推進します。エコドライブの周知普及の推進によるCO₂削減と環境負荷への低減を推進します。

6. 法の遵守と周知

環境活動を推進するに当り関連する法律等の遵守と社員への周知を徹底します。

平成 28 年 10 月 20 日

井上電機株式会社

代表取締役 井上 寛

3. 環境目標とその実績

(1) 現状の環境負荷の実績

平成 28 年度の環境負荷の実績（総量）等を表-1 に示す。

表-1 平成 28 年度の環境負荷の実績（総量）

CO2 排出量	k g - CO2/年	88731
廃棄物排出量	k g/年	21460
排水量	m 3/年	212
グリーン購入	品目数	10

平成 28 年度の環境負荷の実績（原単位）等を表-2 に示す

表-2 平成 28 年度の環境負荷の実績（単位売上当り）

CO2 排出量	k g - CO2/単位売上当り	789
廃棄物排出量	k g/単位売上当り	191
排水量	m 3/単位売上当り	1.6
グリーン購入	品目数	10

電力の二酸化炭素排出係数：0.555(kg-CO2/kwh)

(2) 環境目標（平成 29 年度以降）

環境負荷（CO2,廃棄物、排水量）について、平成 28 年度比で毎年 1%ずつ削減する。表-3 に平成 29 年度以降の環境目標を示す。

表 3 平成 28 年度以降の環境目標（単位売上当り）

		短期目標	中・長期目標	
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
CO2 排出量	kg-CO2/単位売上当り	781	773	765
廃棄物排出量	kg/単位売上当り	159	157	156
排水量	m 3/単位売上当り	1.5	1.5	1.5
グリーン購入	品目数	11	12	13

4. 主要な環境活動計画の内容

(1) 環境目標を達成するための取組

1) 業務改善につながる取組

売上をのばす
不要な発注をおさえる
新規開拓

2) 二酸化炭素排出量(省エネに関する取組)

社用車の効率的な運転管理の推進
車輛の引取り・納車の合理的な運行管理
空調温度の冷房は 28 以上、暖房は 20 以下とする
燃料効率のよい車輛(低排気量車両等)への使用、切り替え
昼休み、無人部屋の消灯(減灯)パソコンは極力待機電力とする
アイドリング時間の削減、アクセルむらのない運転の推進
社用車の定期的整備による燃料効率の向上
省エネタイプの OA 機器の導入

3) 廃棄物排出量(リサイクルに関する取組)

分別を徹底し、再利用・再生率を上げ、削減に努める
リサイクル品の推進
(コンプレッサー、セルモーターオルターネーター)
書類の電子化、裏紙のメモ用紙としての利用等の推進

4) 水使用量(節水の取組)

こまめな節水
車輛洗車用ホース先端にワンストップノズルを取り付けて節水する

(2) その他の取組

社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会、会議の開催
グリーン購入の推進(再生紙、リサイクル可能製品の優先的購入、
廃棄物の削減・分別処理)

5. 環境活動の取組結果の評価及び次年度の取組内容

(1) 環境目標と結果

平成 28 年度における取組結果を表-4 に示す。

表 4 平成 28 年度における取組結果 (単位売上)

		H28-4 ~ H29-3 実績	目標	達成率%
CO2 排出量	総量 (k g)	88731		
	kg/単位売上	789	676	85%
廃棄物	総量 (k g)	21460		
	kg/単位売上	191	159	83%
排水量	総量 (m 3)	212		
	m3/単位売上	1.6	1.5	93%
グリーン購入	品目数	10	10	100%

(2) 評価

CO2 排出量

- ・ 目標 676 kg-単位売上に対し実績は 789 kg-単位売上で目標達成率は 85%と未達成であった。
今後も営業車の効率運用を計るため、通信等(TEL・FAX・電子メール)の活用を推進する。

廃棄物排出量

- ・ 目標 159 kg-単位売上に対し実績は 191 kg-単位売上で目標達成率は 83%と未達成であった。
今後も、分別回収(100%)を強化し、更なる向上を目指す。

排水量

- ・ 目標 1.5m³-単位売上に対し実績は 1.6m³-単位売上で目標達成率は 93%と未達成であった。
今後も、節水意識の継続に努める。

グリーン購入

- ・ 目標 10 品に対し実績 10 品で目標達成率は 100%と達成できた。
今後も対象商品の購入に努める。

(3) 次年度の取組内容

平成 2 8 年度の環境活動計画を基本に踏襲する。

6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

表-5 に環境関連法規への違反・訴訟等の有無を示す。

表-5 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

	能力・取扱量等	関連法規等	届出基準等	届出要否等
1) 設備				
コンプレッサー	2.3kw × 1 基	騒音規制法 岡山市条例	7.5Kw 地域指定	不要
		振動規制法 岡山市条例	7.5Kw 地域指定	不要
2) 取扱物質				
・ 廃棄物	委託契約書	廃掃法	全て	
	有価物：			不要
	廃棄物：			対応済
	マニフェスト	廃掃法	全て	対応済
・ フロン		フロン排出抑制法	全て	対応済

環境関連法規への違反・訴訟等は過去 5 年間ありません。

代表者による全体の評価と見直しの結果

環境管理責任者報告		岡室 勉		
No.	項 目	報 告 内 容		
1	環境目標の達成状況	CO ₂ ・廃棄物・水のいずれも未達成		
2	是正及び予防処置に関する情報	社用車のエコドライブに心掛けるよう促す		
3	法規則等に関する情報	環境関係法規の違反は一件も発見されていません。 各方面からの訴訟等はありません。 地域からの苦情は確認されていません。		
4	その他、必要な情報	_____		
5				
代表者の指示事項				
No	項 目	変更の 必要性		指 示 内 容
		あり	なし	
1	環境方針			役割分担の徹底と共に一人一人が自覚し環境活動に取り組む。
2	環境目標			毎月 1 回、環境目標と結果を発表。 研修会・会議を行う。
3	環境経営システム のための組織			エコドライブを推進。ポスター掲示
4	その他、環境経営システム に関する要素			